



To reduce the risk of falling



STOP! 転倒災害

プロジェクト神奈川

since2015



**いま、職場で最も発生している
労働災害を知っていますか？**

答えは**転倒**による**労働災害**です。



全国で労働災害に被災する人は1年間に約13万人います。

そのうち転倒による被災者は**25%以上を占め**

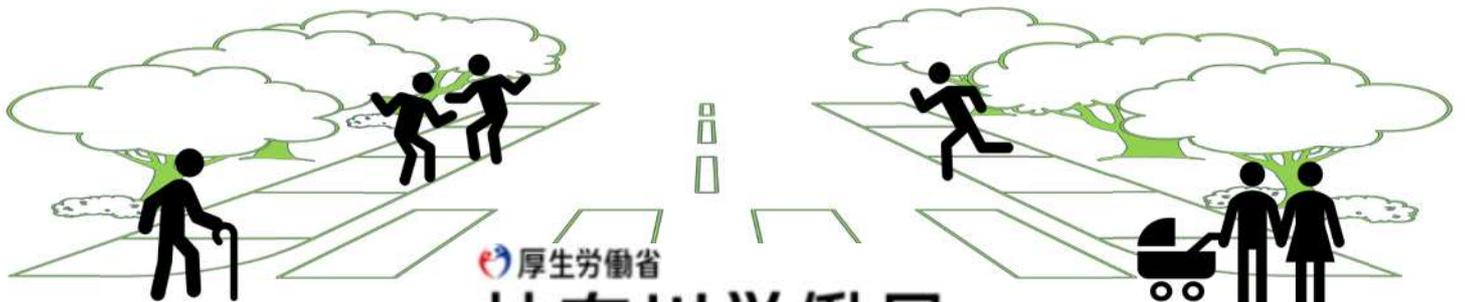
2005年以降**ワースト1**の状況が続いています。

自分や家族、同僚、大事な人が

労働災害で「**痛い**」「**苦しい**」「**つらい**」思いをせず、

将来の**健康寿命**に影響を生じさせないために

今一度、確かめませんか？ **転倒災害防止**について

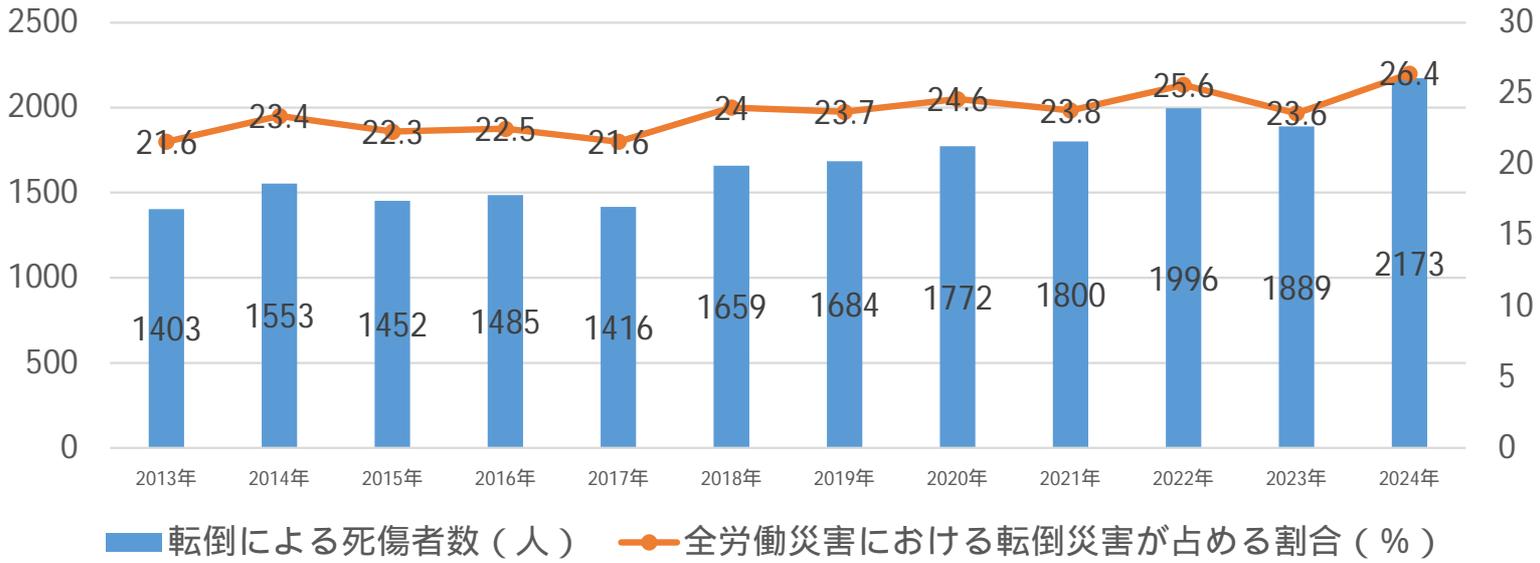


厚生労働省

神奈川労働局

神奈川県労働局管内における転倒による労働災害発生状況

転倒災害の推移 (2014年(平成25年)から2024年(令和6年))

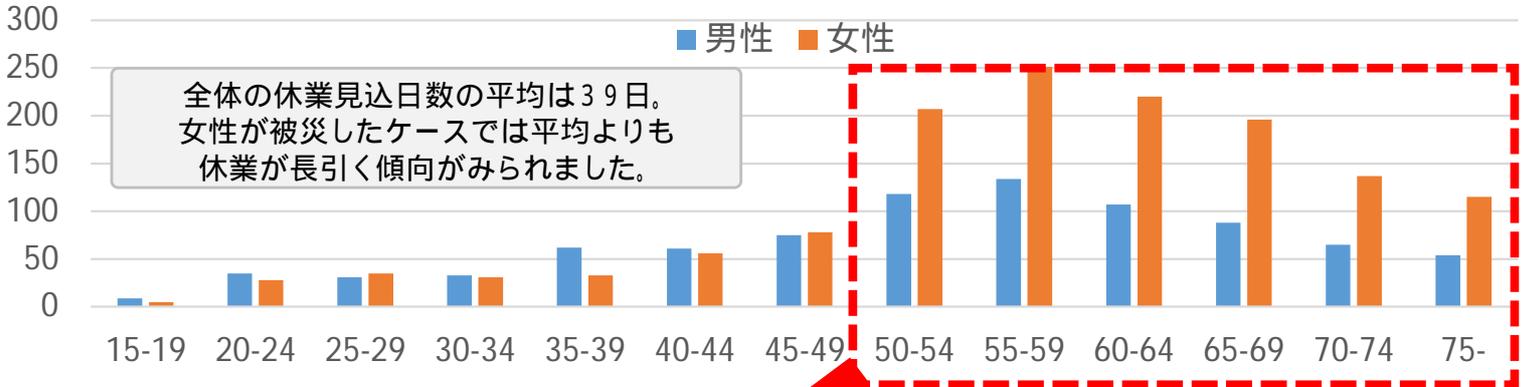


直近の約10年間で、転倒による労働災害は、

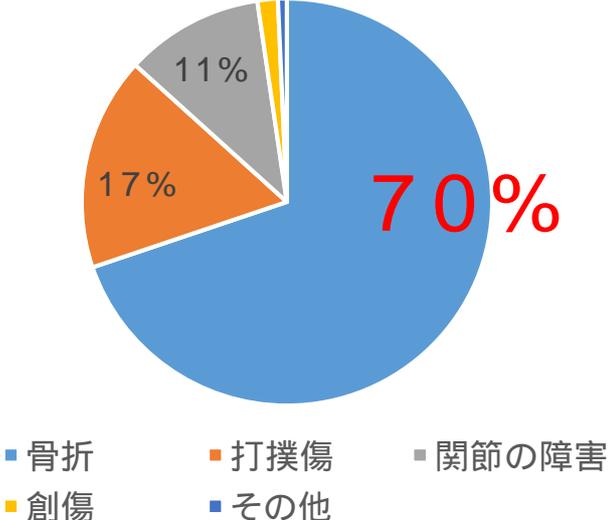
死傷者数が500人以上増加しています。

全労働災害と比較したときの割合が5%以上増加しています。

令和6年中に発生した転倒災害(男女別:年齢階層別)



転倒した50歳以上の女性の傷病性質の内訳



令和6年中に発生した転倒災害の傾向を見ると、

50歳以上で多発している。

男女ともに55歳～59歳の層で最も多く発生している。

特に中高年齢女性による被災者数が顕著に多い。

50歳以上の女性の被災状況を見ると骨折による負傷が7割を占めている。

転倒災害について皆さんの職場や同業者の状況など把握していますか？



転倒災害防止のためのチェックポイント

皆さんは、職場の状況を把握されていますか？

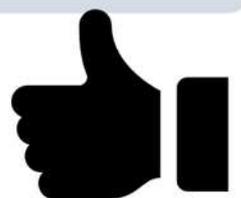
安全衛生活動の推進状況を**確認(チェック)**することにより
現在の**立ち位置(社内の安全衛生水準)**をしっかりと**把握**しましょう！

チェック項目		<input checked="" type="checkbox"/>
1	身の回りの整理・整頓を行っていますか 通路、階段、出口に物を放置していませんか	<input type="checkbox"/>
2	床の水たまりや氷、油、粉類などは放置せず、 その都度とりのぞいていますか	<input type="checkbox"/>
3	段差のある箇所や滑りやすい場所などに 注意を促す標識をつけていますか	<input type="checkbox"/>
4	安全に移動できるように十分な明るさ(照度)が 確保されていますか	<input type="checkbox"/>
5	ヒヤリハット情報を活用して転倒しやすい場所の 危険マップを作成し、周知していますか	<input type="checkbox"/>
6	職場巡視を行い、通路、階段などの状況を チェックしていますか	<input type="checkbox"/>
7	荷物を持ちすぎて足元が見えないことは ありませんか	<input type="checkbox"/>
8	ポケットに手を入れながら、人と話しながら、 携帯電話を使いながら歩いていませんか	<input type="checkbox"/>
9	作業靴は、滑りにくさを考えて選んでいますか	<input type="checkbox"/>
10	ストレッチ体操や転倒予防のための運動を 取り入れていますか	<input type="checkbox"/>



確認(チェック)の結果はいかがでしたか？
もし、チェック項目に漏れがあれば
それは改善を要するところです！

ご存じかと思いますが、**自主点検の目的**とは
安全衛生活動の**立ち位置、状況の確認**を行い、
足りないところを補うために行うものです！



 **自主点検の実施**
まずはチェック！

改善箇所の把握
状況確認

職場の改善
足りないところを
補おう！



ひと、くらし、みらいのために
厚生労働省
Ministry of Health, Labour and Welfare

転倒災害防止に向けて

第14次労働災害防止計画 推進中！

- 死亡災害 5%以上減少
- 死傷災害 増加傾向に歯止め
2027年(令和9年)までに減少



転倒による労働災害の死傷者数は
全体の3割近くを占めます！

年齢別では男女ともに
50代以上で多発！

特に50歳以上の
女性の被災割合が高く
その**7割が骨折**による負傷です！

転倒災害防止を行う際には**エイジフレンドリーガイドライン**の内容も含めてご検討ください。
また、あわせて**健康管理も重要な要因**となります。**キーワードは「ウェルビーイング」**です！

ご存じですか？各種サービスのご活用を検討してください 支援事業を上手に活用し、転倒による労働災害を予防しましょう

独立行政法人 労働者健康安全機構
神奈川産業保健総合支援センター
ゼロ災！無料出張サービス



- 工作中的転倒・腰痛災害「0」を目指して取り組む企業へ
専門家(健康運動指導士や理学療法士など)を派遣！
- ・専門家がヒアリングして、事業場に合った健康応援
メニュー等を提案します。

詳しくは左記QRコード(神奈川産業保健総合支援センターHP)にてご確認ください。

令和7年度 エイジフレンドリー補助金



厚生労働省事業
補助事業者
一般社団法人
日本労働安全衛生
コンサルタント会

総合対策コース、 職場改善コース
転倒防止・腰痛予防のための運動指導コース
**・転倒防止、腰痛予防のための専門家による身体機能の
チェック及び運動指導等の実施など**
コラボヘルスコース

詳しくは左記QRコード(厚生労働省HP)にてご確認ください。

中央労働災害防止協会
中小規模事業場
安全衛生サポート事業



厚生労働省補助事業

- 個別支援
- ・転倒災害などの予防のアドバイス
- 集団支援
- ・職場の転倒防止対策に関する研修や講習の実施 など

詳しくは左記QRコード(中央労働災害防止協会HP)にて
ご確認ください。